（様式第４、９号作成にあたっての補足説明）

①　急性期からの受け入れ

　　概念：地域包括ケア病棟において急性期医療を経過した患者の受入数

定義：次のア、イの合計

ア　他病院の一般病床（回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病棟を除

く）からの受入患者数

　　　　　イ 自院の一般病床（回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病棟を除く）からの受入患者数

　　考え方：他院及び自院の急性期を終えた患者の受け入れ総数を把握したいが、病院ごと

　　　　　に急性期の考え方が異なることから、一般病床（回復期リハビリテーション病棟、

　　　　　地域包括ケア病棟を除く）から転院（棟）してきた数をカウントする（療養病床

からの転院は対象にならないことに注意）。

②　緊急時の受け入れ

　　概念：在宅において療養を行っている患者の受入数

　　定義：次のアからウの合計

ア　在宅患者緊急入院診療加算を算定した人数

イ　救急・在宅等支援病床初期加算イを算定した人数

ウ　その他「**自院・他院問わず訪問診療中の患者を緊急で入院受入した人数**」

考え方：訪問診療中の患者（居宅、施設）の症状が悪化したことにより入院で受け入れた

患者（入院の契機となった疾患が発症する前から日常的な生活支援が多い人）を想

定する。

③　在宅・生活復帰支援

概念：在宅生活への復帰支援に向け、自院内のソーシャルワーカーを含む多職種による

カンファレンス等による支援を行った実人数の割合

定義：退院後に在宅復帰した患者のうち、自院内のソーシャルワーカーを含む多職種に

よるカンファレンス等による支援（※）を行った実人数の割合。

　　　　　※　退院後の自宅での生活に困らないように入院中、退院後の支援策を検討され

ていること。

　　　　　ア　自院内のソーシャルワーカーを含む多職種によるカンファレンス等による支

援を行った実人数

　　　　　イ　在宅に復帰した実人数（在宅復帰率を計算する際の分子となる数）

**（アの人数　ｓｓ人　／　イの在宅に復帰した実人数　ｓｓ人**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（在宅復帰率を計算する際の分子となる数）

考え方：地域包括ケア病棟において在宅・生活復帰支援が行われていることを確認する。

在宅・生活復帰支援のため、少なくともソーシャルワーカーを含む多職種による

院内カンファレンスが行われていることが望ましく、その割合を確認する。